

新しい時代に夢と希望を携えて

校長 友善 学

本格的な春の訪れを心待ちにしていたところ、寒の戻りを思わせるこの4月の雪に、その思いもより一層強く、深くなったところではないでしょうか。

本日、本校に御入学された小学部10名、中学部7名、高等部12名の新入生の皆様、保護者の皆様、御入学まことにおめでとうございます。111名の在校生と共に、我々教職員一同、心より歓迎申し上げますと共に、今後、皆さんと一緒に進めていくこととなる教育活動を大いに楽しみにしているところです。

さて、去る4月1日、新たな時代の元号が「令和」と決定し、公表されました。

「令和」は万葉集巻五、梅花の歌三十二首の序文、「初春の令月にして気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭（らん）は珮（はい）後の香を薫らす」から引用した、とその出典について説明されております。

また、「令和」について「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ、という意味が込められている」と首相談話で説明されておりました。手話での表現も決定され、上向きに片手をすぼめて開いていくシンプルな動作で「未来を目指し、つぼみが花開く」との意味が込められたそうです。

新たな時代の幕開けとなる今年度、子供たちが夢と希望を携えて将来に向かい、花を咲かせることができるよう、確かな力の獲得を目指し教育活動を展開して参ります。

保護者の皆様の一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。

さて私、この度、道南函館の隣町、七飯町にございます七飯養護学校より着任いたしました。平成19年から3年間、この真駒内養護学校で教頭として勤務させていただいておりました。再び、こちらで勤務させていただくこととなり、大変光栄に思うと共に、身の引き締まる思いでございます。子供たちが毎日楽しく通える、また、通いたくなる学校づくりに努めて参ります。